

関西 EAC 第502回例会 : オープン例会【オンサイト・オンライン同時開催】のご案内

■ テーマ どうなる日本のものづくり

■ 日時 2022年4月22日(金)13:30~17:00

■ 場所

■ オンサイト会場: 立命館いばらきフューチャープラザ 1F カンファレンスホール

★先着順受付 参加者には事務局より参加チケット兼名札を送ります。

※オンサイト参加申し込みは備考欄に必ず電話番号をご記入ください

※全席指定席

■ オンライン会場: Zoom会議室

★ZoomのミーティングIDとパスワード

例会前日に事務局より参加者にメールにてZoomミーティングURLとIDとパスワードを送ります

■ 交通手段

JR茨木駅徒歩5分

<http://www.ritsume.ac.jp/futureplaza/access/>

■ 備考

オンサイト開催に加えてオンラインでも開催します。なお、新型コロナウイルスによる感染が拡大した場合はオンライン開催のみとします。

■ お問い合わせは 関西設計管理研究会 事務局長 河添 俊幸 宛 [コンタクトフォーム](#)から問い合わせください。

スケジュール

13:30~13:40	・感染拡大予防対策注意事項の説明 ・会長挨拶
13:40~14:30	「日経ものづくり特集『ものづくりの基礎が危ない』制作過程と発行後に考えた事」 株式会社日経BP 日経クロステック/日経ものづくり 木崎 健太郎 氏 「日経ものづくり」において昨年の一年間で、いわゆる視聴率的には最も良く読まれた、4月号特集『ものづくりの基礎が危ない』について、記事の作成過程と発行後に起きた事、考えられた事についてお話しいただきます。
14:30~14:40	換気・休憩
14:40~15:30	「働き方改革!3DCAD テンプレート設計ツールによる自動化で生産性向上と技術者下剋上!」 日本信号株式会社 久喜事業所(埼玉県) インフラ機器技術部 係長 喜多 慧亮 氏・武井 翔 氏 鉄道信号システムの製品寿命は20年以上とされています。これまでの設計は、長年の経験や勘に頼ろうとする傾向にありましたが、3D CADを活用した自動設計ツールを開発することにより、勘や経験に依存した設計からの脱却に成功されました。 ツール作成にあたって、ベテラン設計者に聞き込み、判断基準などを統一し、標準化の取り組みをされました。設計業務の70%を効率化した、「働き方改革」の実践事例を紹介いただきます。
15:30~15:40	換気・休憩
15:40~16:30	パネルディスカッション 「日本のものづくりの課題と、3DCADを定着させる組織と運用」 パネリスト 株式会社日経BP 木崎 健太郎 氏 日本信号 株式会社 喜多 慧亮 氏 株式会社 GSユアサ 相阪 俊平 氏 MAKErs SENSE 中谷 光男 氏(元パナソニック) 司会 夢伝舎 川崎 敬二 氏(元シャープ)
16:30~16:40	2022年度例会開催計画のご案内
16:40~17:00	会場撤収・座席消毒作業(参加者全員)